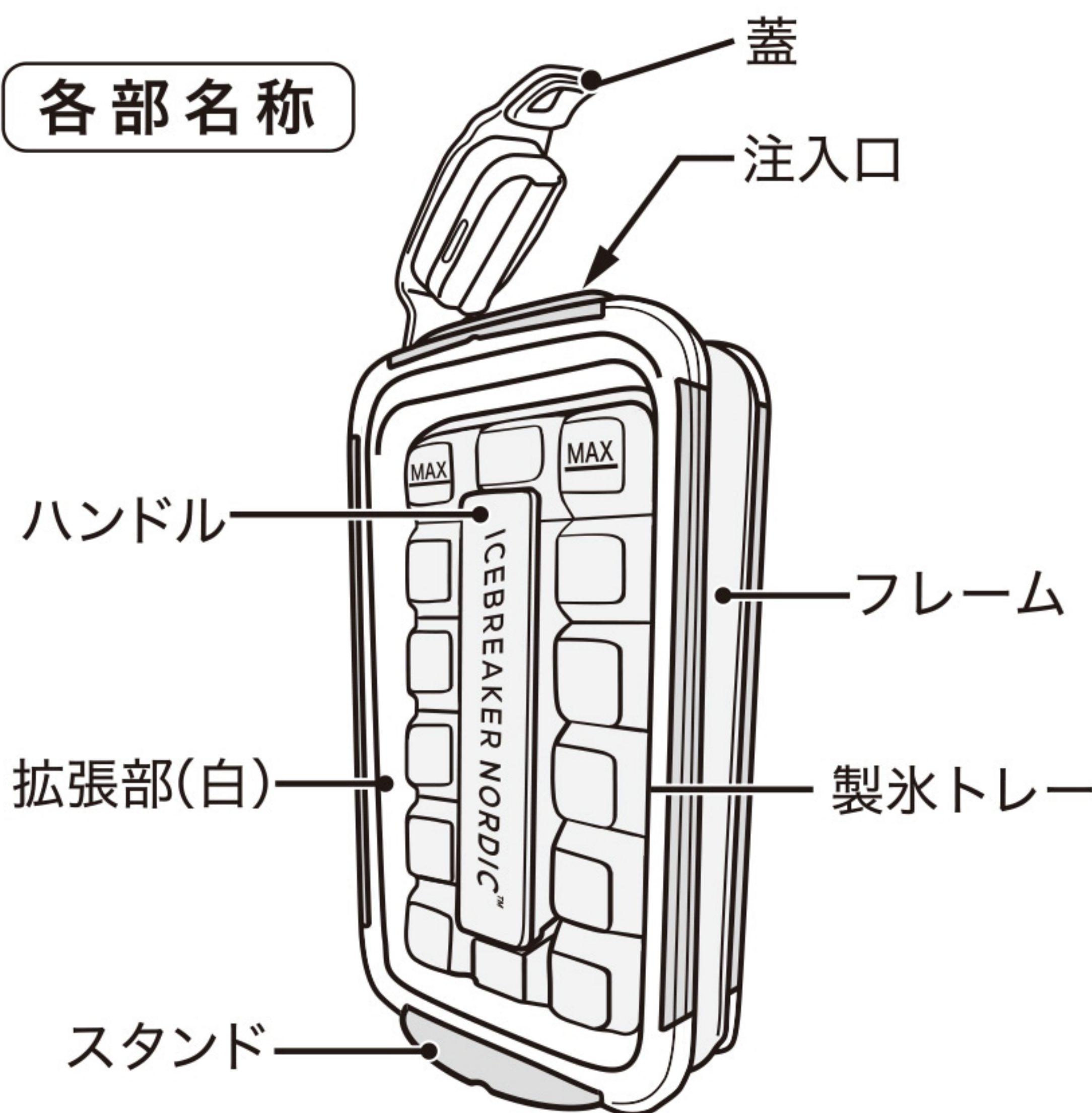


「ICEBREAKER アイスブレイカー」をお買い上げ賜り誠に有難うございます。ご使用開始前に、必ず説明書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。

特徴

- ◆蓋付きだから冷凍庫へ入れる時に水がこぼれず、縦置き・横置き・重ね置きができます。
- ◆密閉容器だから、におい移りがなく清潔。使い切れなかった氷をそのまま保管可能。
- ◆蓋付きだから飲み物をそのまま凍らせ、ドリンクボトルとしても活用できます。
- ◆保冷効果が長続きますからアウトドアでも活躍。蓋付きなので、保冷剤や簡易氷枕としても使用可能。
- ◆人体や環境への有害性が指摘されているBPAとフタル酸エステルは含まれていませんので、安心してご使用頂けます。

各部名称



■本体の洗浄

- ① ご使用になる時は、蓋を開け、ハンドルを両手で持ち本体を上げた状態で、「水」又は「ぬるま湯(30℃以下)」を7割ほど入れたのち、蓋をしっかりと閉めて、振り洗いして下さい。
- ② 本体に傷がつく恐れがありますから、内部は柔らかい柄付ブラシ、外側は柔らかいスポンジをご使用下さい。
- ③ 洗剤をご使用になる場合は、食器用中性洗剤をご使用下さい。塩素系洗剤や濃度の高いアルカリ性洗剤は、本体を傷める恐れがあるため使用しないで下さい。
- ④ 水以外を凍らせた場合は、取り出した後にすぐに振り洗いをすればきれいに落とせます。付着したままにすると汚れや匂いが容器に残り、製氷した際に氷に匂いが移る可能性がありますのでご注意下さい。

※フレームから本体(製氷トレー)を外し分解することは可能ですが、水漏れ防止の設計上、非常に硬く外しにくい為お勧めしません。
※製氷トレーとフレームの接合部分がきちんとはめ込まれているかフレームの周り全てを親指で押し込んで確認して下さい。(両面)しっかりとはめ込まれていないと水漏れします。

⚠ 使用上の注意

- 油分を含む粘着性のある液体は本体に入れないで下さい。
- 塩素系洗剤や漂白剤、クレンザー(磨き粉)のご使用はお止め下さい。
- 無理に引っ張ったり、たわしや目の粗いスポンジ、鋭利な刃物などの使用はお止め下さい。
- 電子レンジやオーブンでの使用は出来ません。
- 高温になる場所(ガスコンロ・IHヒーター・直射日光等)や熱くなる調理器具の近くに置かないで下さい。

仕様

- 本体(約):21×11.5×6(拡張時:8)cm ●重量(約):250g ●貯水量(約):260ml(1つ約2.5～3cmの氷が18個作れます。)/拡張時:1,150ml ●耐冷温度:-20℃ ●材質:ポリプロピレン、ABS、サーモプラスチックエラストマー
- デザイン:デンマーク ●原産国:中国

※食器洗浄機使用可能(70℃以下) ※BPA・フタル酸エステルは含まれていません。

※本仕様は改善や改良のために予告なく変更されることがあります。 ※包装やカタログの色と実物の色とは、印刷の都合により異なることがあります。

デンマーク
アイスブレイカーノルディック社
日本総代理店・正規輸入総発売元



〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-9
アネックス麻布十番オフィス3階
TEL03-3589-3300 www.metex.co.jp/

メテックス 検索



お客様相談室

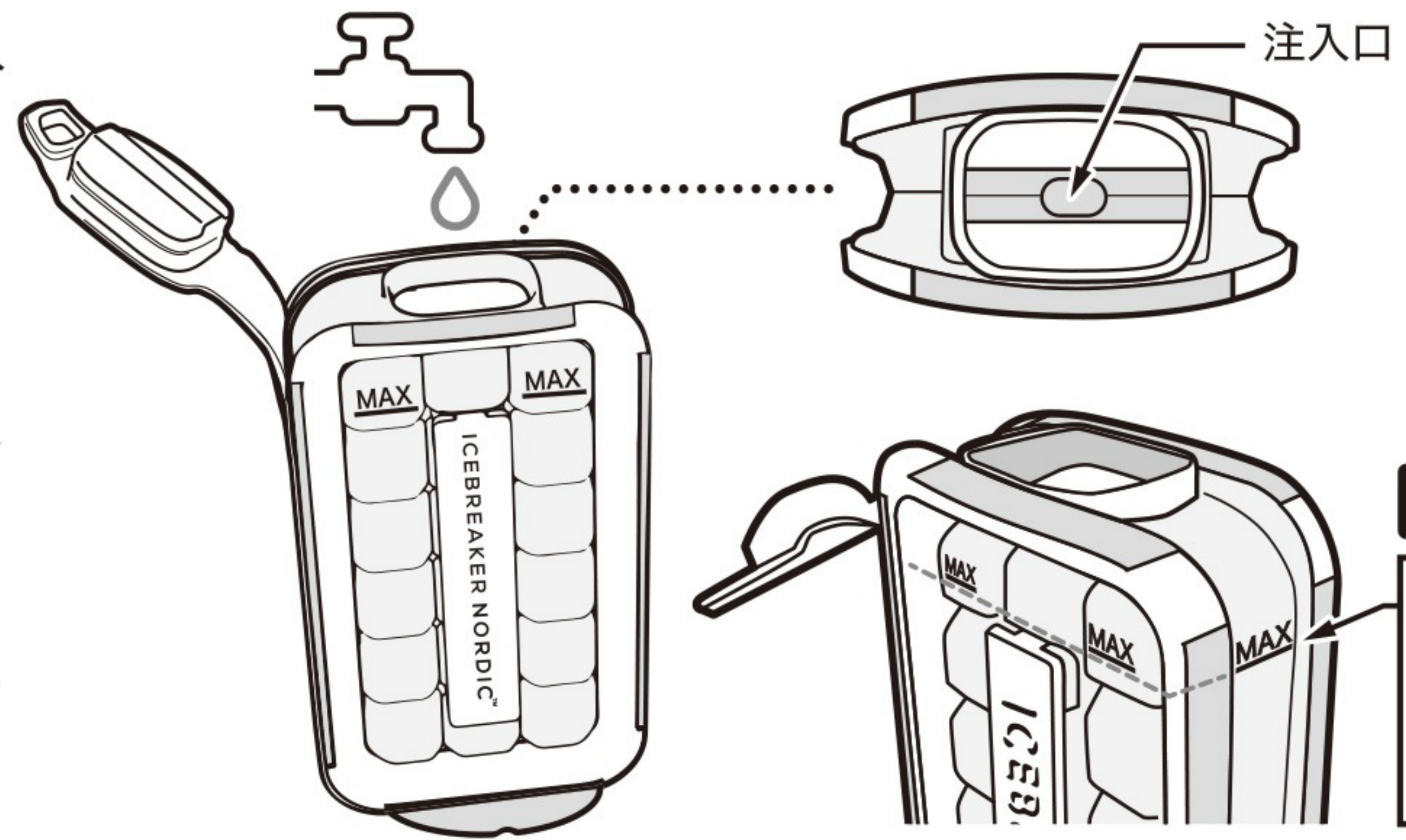
TEL:03-3589-4555
(平日9:15～17:15)
FAX:03-3589-5500 (24時間受付)
E-mail:metex-master@metex.co.jp

<ご使用方法> ③、④をよく読み、開いてから氷を出して下さい。

- ① 蓋を開け、本体をたたんだ状態で水を注入します。
水は注入口まで入れず、本体記載の **MAX** の下線を目安に入れて下さい。

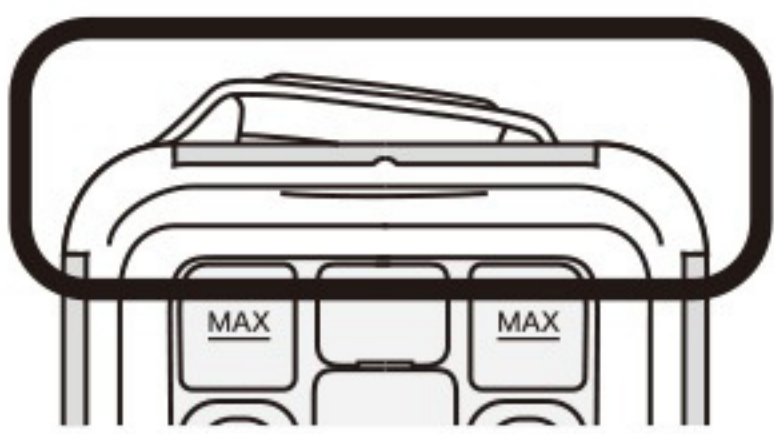
※製氷トレイとフレームの接合部分や蓋がきちんとはめ込まれているか周囲全てを親指で押し込みながら確認して下さい(両面)。
しっかりとはめ込まれていないと水漏れします。

※拡張した状態で凍らせると氷は取り出せませんのでご注意下さい。



注水後の蓋の閉め方

× 隙間あり

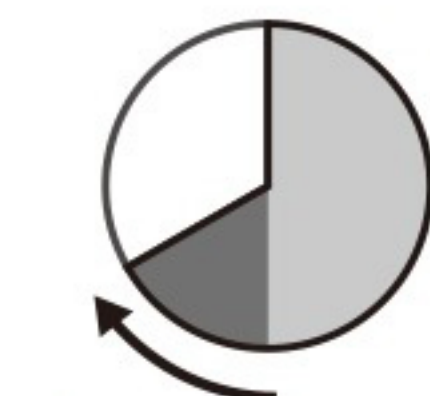


○ 隙間なし

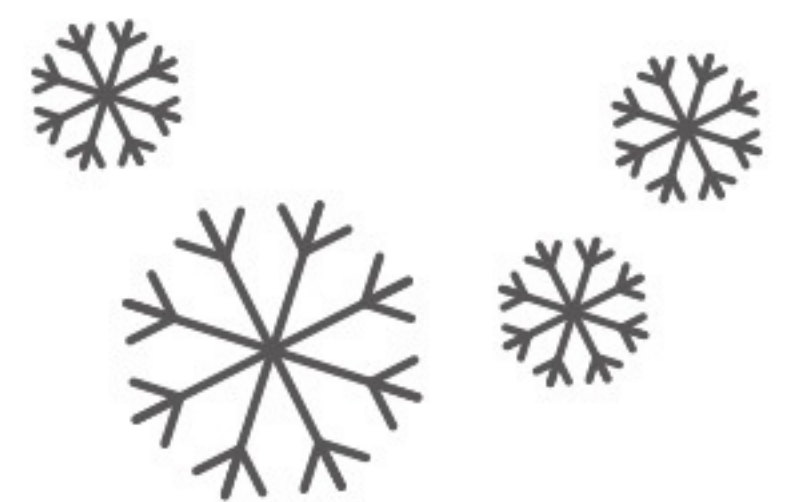


蓋を本体にかぶせた後、水漏れがしないよう、蓋の四辺をまんべんなく指で押し、本体との間に隙間が出ないように、ご注意下さい。

- ② 蓋をしっかりと閉めた後、冷蔵庫へ入れ約 6～8 時間程度凍らせます。
(縦でも横でも、不安定な場所でも自由な置き方が出来ます。)

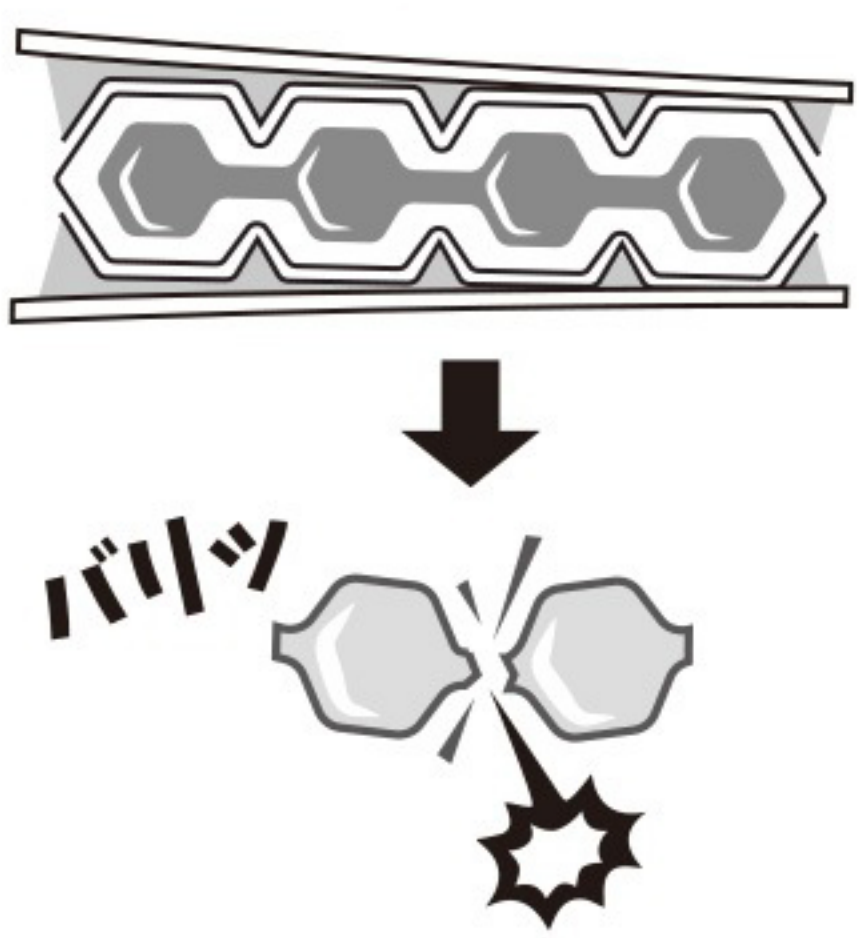


6～8時間



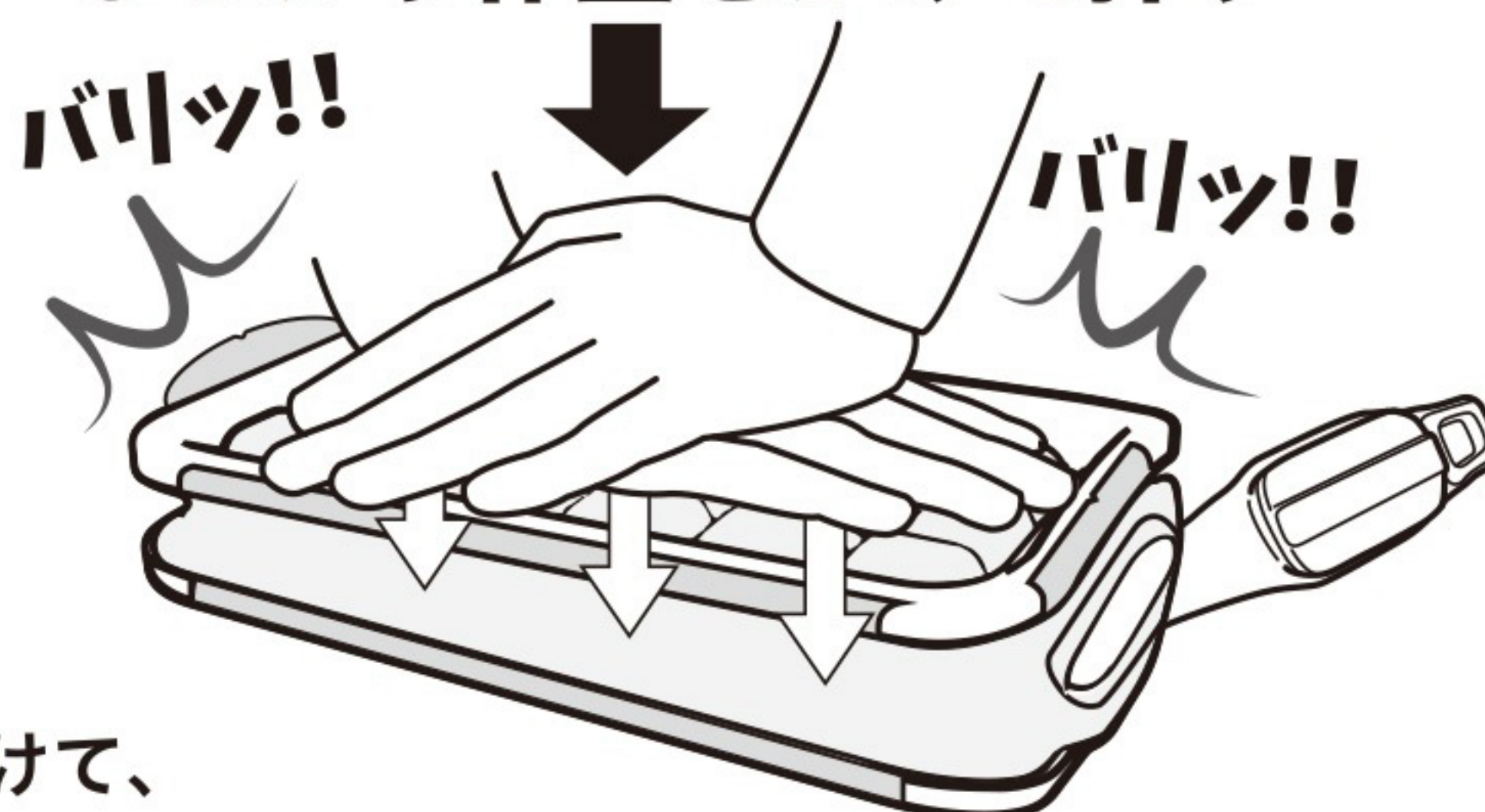
- ③ (氷が出来たら) **先に蓋を開け**、アISTトレイをキッチンカウンターやテーブル等、平らな固い場所に置き、下の図の様に本体の上から手のひらを当て、**左右の端から端まで数回垂直に体重をしっかりとかけて、中の氷を砕いて下さい。(ひっくり返して両面とも複数回行なって下さい。)**

Point!



<氷が割れるイメージ>

しっかり体重をかけて押す



体重をかけて、中の氷同士をバラバラにします。

Point!

蓋を開けてから!

必ず

左右の端から端まで

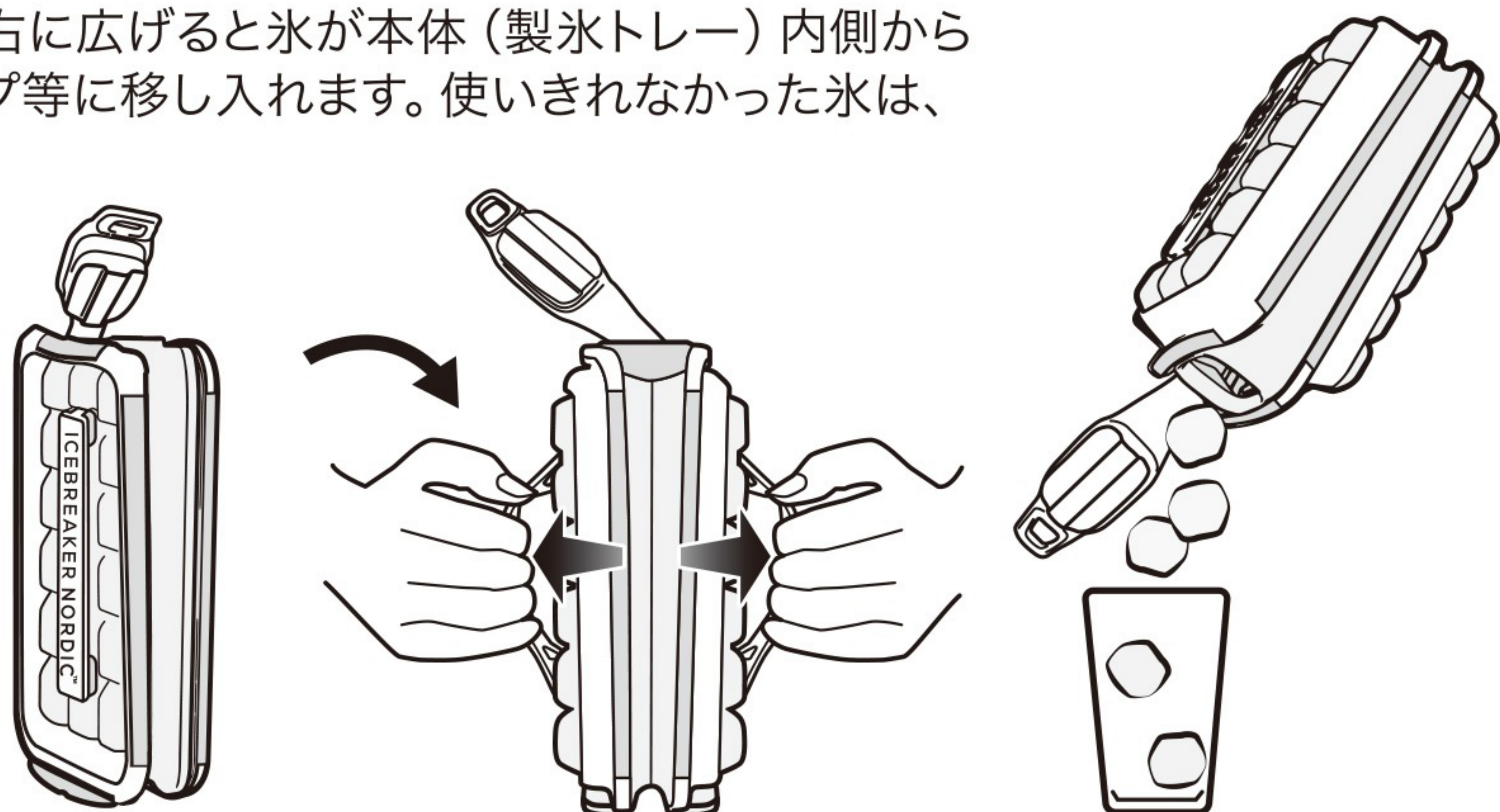
上下両面

数回行って下さい!

- ④ 本体にある両方のハンドルを持ち、左右に広げると氷が本体(製氷トレイ)内側から剥がれ落ちます。必要な量の氷をコップ等に移し入れます。使いきれなかった氷は、そのまま本体に保管可能です。

❗ 蓋を閉じていると、真空状態になっているため本体が開きません。

❗ 氷が本体(製氷トレイ)から剥がれ落ちない場合は、広げたハンドルを元に戻し、再度③の動作を繰り返して行って下さい。また、必要に応じ表面に少し流水をかけて下さい。



応用編

◆拡張した状態で凍らせ、そのままクーラーボックス等に入れば大型の保冷剤として使用できます。